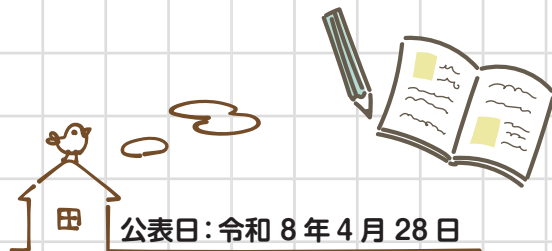


令和7年度

阪南市立 児童発達支援センターたんぼぼ園 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日: 令和8年4月28日

○事業所名	阪南市立 児童発達支援センターたんぼぼ園		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 12日		~ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 9月 29日		~ 2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 9月 12日		~ 2025年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施して情報共有をおこなっています。 そのため、各事業所が適切な助言を受けながら支援の質を高められる体制が整っています	COMPASSでは保育所等訪問支援の質を高めるため、専門性をもつ職員の知識や経験を活かし、事例検討やアプローチ方法について社内で定期的に勉強会を実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報共有を通して職員のスキル向上を図ってまいります。
2	訪問支援員を事業所職員が担うことで、幼稚園・保育所・学校での児童の様子や支援上の課題を直接把握し、その情報を事業所内で共有して支援に活かせる点が強みとなっております。 訪問先で得た情報を日々の支援へスムーズにつなげられる体制を整えております	児童の様子や課題を訪問後すぐに職員間で共有し、事業所での支援に反映できるよう仕組み化するとともに、担任や担当者とも短時間でも情報交換をおこない、園・学校・家庭・事業所が同じ方向で支援できるよう意識して取り組んでおります。 また、事業所と訪問先の支援をつなぐ視点を大切にし、児童がどの環境でも安心して過ごせるよう支援の一貫性を確保することを心がけています。	さらに支援の充実を図るため、訪問先との連携方法の見直しや情報共有の質向上に取り組むとともに、職員の専門性向上に向けた研修や事例検討の機会を継続的に設けてまいります。 また、児童の環境に応じた支援の一貫性を高められるよう、事業所と訪問先の双方で活かせる支援方法の検討にも努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問日程を組む際、学校や園の行事や活動と訪問員の予定が重なることがあり、日程調整に時間を要する場合があります。 ある点が課題となっております。	基準配置による人員体制や、事業部会議・研修等の業務が重なることで、訪問に充てられる時間が限られる状況があります。	訪問員の増員や体制の見直しを進め、訪問日程をより柔軟かつ円滑に調整できるようにすることで、安定した訪問支援の実施につなげてまいります。
2			
3			

